



INDEX

- ◎ 気持ちよく生きる秘訣？
- ◎ 心に響いたことば
- ◎ 今号の「書評」
- ◎ スタッフ紹介
デザイナー 谷口 竜太
- ◎ お客様紹介募集
- ◎ あとがき

ごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い致します。年明け早々に1ヶ月間の緊急事態宣言の発令となり、おめでたいとはいえませんね。しかし、時はいつでも平等に進んでいくので、社会の時流に気を配りながら今できることを粛々とすすめるしかありません。こんなときこそポジティブ・シンキングで乗り切りましょう。諦めてしまったら、進化への道は閉ざされてしまいます。もう話を聞く事はできませんが、戦国時代や戦時中の経営者をもっと大変だったかと思います。今いる時代、環境で頑張るしかありません。自社、自分の特徴を再度見直し、それを時代にフィットする形に変えて活かす方法を模索するしかないですよね。

気持ち良く生きる秘訣？



あけましておめでとうございます。木村です。

2日に地元の日吉神社（拝島大師となり）に初詣に行ってきました。毎年の事ですが、参拝者の列に並ぶのは嫌なので拝殿にて厄祓いを兼ねて参拝してきました。今年はコロナの影響で拝殿に入れるのが、個人だと本人のみ、法人だと2名までしか入れないと言われてしまったので、5人家族の私は自分の厄払い（1名分。2歳の娘はおまけ）と、会社の商売繁盛祈願（2名分）、娘の学業成就（1名分）の3つの祈願で全員揃って参拝してきました。本当は日を改めて社員共々、商売繁盛祈願をしようと思ったのですがしかなかったですね。

さて、正月に必ず話題になるのが、新年の目標や今年の抱負です。ここで残念なお知らせがあります。2012年にJournal of Clinical Psychologyで発表された研究によれば、新年の抱負を立てるアメリカ人は、全体のほぼ半数に上る一方で、実際に守り通せる割合はたった8%だったといえます。イギリス人の43%が1ヶ

月もしないうちに「新年の誓い」を破っているというデータもあります。経験からも達成することが難しいと分かっているのに、なぜか目標を掲げて挫折するというのを繰り返してしまっていないでしょうか。

1年単位の目標はたてない

いっそのこと目標を立てるのをやめてしまてはどうでしょう？こんな言葉あります。世界No.1コーチであるアンソニー・ロビンズの言葉です。【人は1年で出来ることを過大評価するが、10年で出来ることを過小評価する】

言い得て妙だと思います。1年間の目標は、たいてい目標を立てるときに、無理して頑張らないとできない目標を立ててしまうものです。なので続けられない。それに対し、10年後の目標は今の自分から想像できる範囲内でしか考えられないので過小評価してしまう。

子供をみるとわかりやすいですね。小さい頃の夢は「ケーキ屋さん」とか「サッカー選手」なんですけど、ちょっと大きくなって経験を積むと、その頃は想像できなかった職業が夢になってたりします。ちなみに私の長女のなりたい職業は4歳のときに「プリキュア（少女アニメのキャラ）」で、12歳で「薬剤師」になりました。4歳のときに薬剤師は想像もしていなかったはず。結局13歳の今はどうなったのかはわ

かりませんが（笑）。

ほとんど達成できないのであれば、1年毎に目標を立てるのをやめてしまって、夢だったり中長期の目標だけを追ってみてはいかがでしょう？

結局毎日の積み重ね

1年後も10年後も毎日の積み重ねでしかないので、日々目標に向かって進んでいるかを確認しながら、日々努力するしかありません。この考え方を会社に浸透させる意味も込めて日報をはじめました。日報には業務の進捗報告ではなく、次の3つの項目について書いてもらっています。

1：よくなかったこと（うまくいかなかったこと、嫌だったこと）

2：よかったこと。自分を褒められること（うまくいったこと、感動したこと、嬉しかったこと。気づいたこと）

3：明日の目標（関心を引いた些細なことでもOK）

業務の進捗状況は「Backlog」というプロジェクト管理ツールを使用しているので、そちらで確認しています。各項目について1行ずつ、3行でもOKとしますが、必ず書いてもらい、必ず返信するようにしています。また、自分も従業員に対して書くようにしています。面と向かっては言いづらいことも社員から聞けますし、メールやチャットでの文章でのコミュニケーションが増えることが予想されるので、ちゃんと文章を書けるようになる為の訓練にもなっています。

自分との約束を守る

日々を気持ち良く過ごす最大の秘訣は、自分との約束を守ることだと思っています。予定でもなんでも他人との約束は守りますが、自分との約束はついルーズになりがちです。日報を通して反省を繰り返し、明日の目標を決めることで

自分にコミットする。決めたらやる。その繰り返しが大きき目標に達成につながると信じて今年も邁進してまいります。

参考に。毎日やると決めたこと

- ・日報を始めたので、毎日書いて返信する
- ・事務所の神棚がなかったので、神棚を祀って毎日「米・水・塩」を替える。
- ・5分トレーニング。なかなかジムに行けないので。
- ・15分勉強。1時間とかだと達成できないので。
- ・15分家事。家のこともやらないと熟年離婚が怖いので。（1月9日記）



心に響いた言葉

聞いたり、読んだりして心に響いた言葉をご紹介します。

今回は今更感満載ですが、僕が独立した2010年の記事で何度も見直していたホリエモンのブログ記事です。ここまで徹底してできなかった今の自分がいますが、再度気合を入れ直して頑張りたいと思います。

起業してほぼ確実に成功する方法

私は起業するに当たって、自分の好きな商売ではなく確実に上手くいく商売から始めたほうがいいと言っている。具体的には、

利益率の高い商売

在庫を持たない商売

定期的に一定額の収入が入ってくる商売

資本ゼロあるいは小資本で始められる商売

をやればほぼ確実にうまくいくと指南してきた。

これは正しいと思うのだが、どうもたまたま上手くいかない人がいるみたいだ。

なぜだろう？と疑問に思っただけで。

で、これなんじゃないか？と思ったことが一つ

だけあった。

それは睡眠時間以外のほぼ全てを仕事に使って
いないということじゃないかと。

私が8時間以上ずっと机に座ってデスクワーク
をしていて食事の仕事しながら撮っていたみた
いな話を書いたらメルマガで質問があった。デ
スクワークをしていると、ついつい動画サイト
やらをみてしまうんだと。

動画なあ？そんなもん見てる暇ない。仕事で映
画評をやるので映画の試写会に行くか、twitter
で激しくソーシャルフィルタリングされた動画
とかしかみない。それもダダ漏れ系とかはちょっ
とだけチェックして仕事に逆戻りだ。ゲームな
んかしてる暇無い。仕事でレビューが必要だか
らとりあえず買ってちょっとだけしかやらない。

雑誌や漫画は基本的には移動中、電波が通じな
いところでしか見ない。書籍は書評やレビュー
が必要なきにしか読まない。それも移動中が
中心だ。

起業して3年くらいは、友達と飲みに行くこと
もほとんど無かったし、異業種交流会とか講演
会の類も一度も行ったことがない。そんなの行
くくらいだったら講演者の書籍を自分のペース
で速読したほうがいい。メルマガを発行してた
らそれを読めばよい。行く時間も勿体無い。

今は違うが、当時は食事の時間も勿体無いので
1Fにあるファミリーマートから弁当やら揚げた
ての惣菜やらを買ってきて食べてた。それすら
時間ももったいなくて社員に買いにいかせたこ
ともある。宅配の弁当屋もよく利用していた。

土日も勿論ない。旅行も年に1度行くか行かな
いか。盆も正月も無い。ずっと仕事であった。デ
ートもしないので、プロセスが省略できるという
理由で一時期風俗にはまっていたこともある。
風呂に入る時間や髪を切りに行く時間など完全
に勿体無いと思って、ほとんど行っていなかっ
た。

果ては家に帰る時間すら勿体無くなって、ずっ

と会社のベッドで寝ていたこともある。一時期
は会社の仮眠室にシャワーまでつけていた。

それくらいやったらほぼ確実に成功すると思
うんだよなあ。。。

あ、ここで大事な事はこれを苦しいと思う人は
向いていないかもしれないってことだ。私は正
直他の何よりも仕事に集中している時間が好き
だったし、新しい技術を開発したりするのが面
白かったのだ。

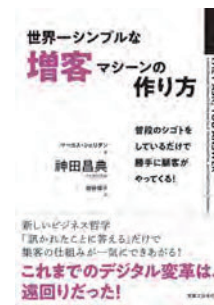
--

前号のジョブズの言葉の真逆をいってる感じ
ですが、これもまた一つの真実でしょう。

さあ、仕事しよっと。



今号の「書評」



実はまだ読み途中(344P
もある・・・)なのですが、
事例紹介前の考え方を読ん
だ時点で、マーケティング
をする上で、絶対読んだほ
うが良いと思いました。

私もこの本の手法に則っ
て自社のサイトをテコ入れしデジタルマーケティ
ングを確立しようと思ってます。だから、はずか
しいので、紹介しようか迷いました。購入したキッ
カケは神田昌典というマーケティング界隈では有
名人が監訳しているので、とりあえず、という
気持ちで買ったのですが、作者が実際に中小企業
で試行錯誤し実践したことを中心に書いているの
で、共感できる部分も多く読みやすいです。ウェ
ブサイトからの集客を考えられている方は是非読
んでみてください。そして一緒に取り組ませても
らえれば嬉しいです。

世界一シンプルな増客マシンの作り方

著者：マーカス・シェリダン

おススメ度：★★★★★



スタッフ紹介



クリエイティブ事業部
デザイナー

谷口 竜太 (たにぐち りゅうた)

昨年の12月に入社したばかりのデザイナーです。indeedからの応募で、当初Webの経験が少なかったのでお断りしたのですが、私の事業への想いや考え方を読んでくれて、共感してくれたようで半分熱意に負けて入社してもらいました。

仕事面ではまだまだ成長の余地がたっぷりですが、デザイナーとして様々な販促物のデザインをする他、ウェブサイトの制作やメンテナンスを担当しています。動画編集が本人の中では面白くなってきたらしいので、今後は動画を多く担当するかもしれません。何よりも、色々なことに気づいてくれるので、人として入社してもらってよかったと思っています。甥っ子を愛する心優しい好青年です。皆様どうぞよろしくお願ひ致します。

特技：片付け／趣味：散策とものづくり

■本人からのコメント■

はじめまして。谷口竜太(たにちゃん)です。地域の活性化に興味がありまして様々なデザイン物に携わりたいという想いでデザイナーとして頑張らせていただいています。よろしくお願ひ申し上げます。

申し訳ございませんが恥ずかしがり屋のため写真は雰囲気でご勘弁くださいませ。

このニュースレターでご紹介させて頂く方募集しています

このニュースレターはドットワンとご縁をいただいた方に発行させていただいております。

今後、お客様の事業を紹介させていただくコーナーや、ドットワンへのお客様のご意見・ご感想を掲載させていただくコーナーを制作していく予定です。

載ってあげてもいいよ!という方は、タイトルに『ニュースレター掲載希望』と書いて、メールください。取材にお邪魔させていただきます。

宛先: kimura@dot1.tv

あ・と・が・き

- メンバーも増え、プレッシャーが増えますが、人が増えるとやっぱり楽しいですね。楽しむコツは期待しすぎないことだと思っています。
- indeedから数名採用し、活用の仕方や応募が来る採用情報の書き方がなんとなくわかってきました。実験台になってもいいよって方は是非お手伝いさせていただきます。
- 小さな社会貢献として「子供が売られない世界をつくる かものはしプロジェクト」に寄付継続中です。



代表者プロフィール
木村太一 (Kimura Taichi)
1979年8月9日生まれ 東京都日野市出身
日本大学第二高等学校 卒業
日本映画学校(現日本映画大学) 卒業
家族構成: 妻と娘3人
趣味: ゴルフ 筋トレ
・東京稲城ロータリークラブ 会員

出版・編集

ドットワン合同会社 代表 木村太一
電話: 042-519-6960 / FAX: 042-533-5421
〒196-0001 東京都昭島市美堀町 5-16-22-302
URL: <https://dot1.tv> e-mail: info@dot1.tv

配信停止について

このニュースレターでは、すぐに役に立つ情報アドバイスを提供していますが、本ニュースレターがご不要な場合は上記連絡先まで、ご連絡ください。

免責事項

このニュースレターでは、すぐに役に立つ情報アドバイスを提供していますが、本ニュースレターで提供された情報、およびアドバイスによって発生した問題に関しましては一切、当方やライターに責任や義務は生じません。読者はここでの情報を参考に下した判断や行動は、全て各人自身の責任となります。